

5-d イニシャルコストとランニングコスト

当然のことですが、フネはそれを購入するにも、保有し続けるにも、それなりの費用がかかります。ここでは、イニシャルコスト (initial cost: 初期導入費用) とランニングコスト (running cost: 維持管理費用) に分けて、フネを所有する場合にかかる費用について考えてみることにしましょう。

*

まず、イニシャルコストで最も大きな額となるであろうものは、フネ本体の価格です。ただし、搭載可能なエンジンが複数用意されている場合には、その選択次第で最終的な船価が大幅に変わる可能性があります。また、ディーゼルエンジンとガソリンエンジンのどちらも選択可能というケースでは、その選択が、イニシャルコストだけではなくランニングコストにも影響してくるでしょう。

一般に言われるのは、ガソリンエンジンはイニシャルコストが低くてランニングコストが高く、ディーゼルエンジンはイニシャルコストが高くランニングコストが低い、ということ。そして、そうではあっても、イニシャルコストの価格差をランニングコストでカバーするには、相当頻繁にフネに乗ったとしても数年はかかる、ということもまた、よく言われることです。

これは、どちらもおおむね事実です。ただ実際には、フネの大きさやエンジンの出力、使う燃料の量、燃料価格 (マリナーによってかなり違います)、出艇頻度など、あまりにもさまざまなケースがあるため、よほど具体的な例がないと、まともなシミュレーションなどできません。実際、いくつかの例を設定して計算してみました。 「イニシャルコストの価格差をランニングコストでカバーする」 のにかかる年数は、2、3年から10年以上まで、とてつもなく幅のあるものとなりました。要するに、これは「人それぞれ」ということなのです。ご自分の信ずるところに従うのが結局、一番でしょう。

ただ、国産艇の場合、ガソリン船外機仕様とディーゼルスタンドライブ仕様の両方が用意されたフネはありますが、同じエンジン形式でディーゼルとガソリン

の両方が用意されたモデルは、現在のところ存在しません。

*

イニシャルコストには、他にもいろいろと考えられるものがあります。フネそのものに関するものをざっと挙げただけでも、オプション装備や航法機器、無線通信関係などの艀装品、船検に必要な法定安全備品と登録諸費用、ディーラーの本拠からの回航・輸送費用や慣らし運転の費用などさまざまです。

オプションについては、たしかにあとで追加可能なものもありますが、建造途中でないと取り付けられないものもありますし、輸入艇などの場合は輸送費用もかかりますから、できるだけ最初にまとめて注文するのが原則です。

また、マリナーにフネを保管するのにも、ある程度のイニシャルコストを見積もっておく必要があります。かかる費用はマリナーによってかなり異なりますが、多くの場合、保証金、初年度の保管費用 (月割り計算?)、船台製作費などでしょうか。他に施設利用料などの費用が加わることもあるでしょう。

一応、これだけ用意すれば、フネを購入し、マリナーに保管することはできますが、忘れてはならないのが保険関係の費用です。マリナーによっては、そのマリナーでフネを保管するにあたって、指定の保険への加入を条件としているところもあります。

プレジャーボートの保険にはいろいろなタイプがありますが、おもな保険の対象としては、船体やエンジンの損傷、対人対物事故の賠償、搭乗者・同乗者の傷害、遭難時の捜索費用などがあり、これらをまとめてセットにした保険などもあります。

*

ランニングコストのうち、固定費的なものは、マリナーの保管費用と年ごとに支払う保険費用くらいでしょうか。あとは、船検の定期検査や中間検査といった法的手続きにかかる費用を除くと、燃

料費も、メンテナンスにかかる費用も、補修費用も、さらに追加艀装費用なども、フネの使い方次第で増えれば減りもするというものです。保管費用とは別に、毎回の揚降費用などがかかるマリナーでは、それらも同様です。

*

日本では、軽油を船舶の燃料として使用する場合、軽油取引税 (道路目的の地方税) の免税措置を受けることが可能でした。しかし、道路特定財源制度廃止に伴い、軽油取引税も一般財源化されたため、延長措置はあったものの、2015年3月をもって、免税措置は消滅予定です (2015年1月現在。再延長の議論はあるようです)。

一方、ガソリン価格にも揮発油税と地方道路税 (どちらも道路目的国税) が含まれていましたが、これは「製造会社が支払う税」なので、もともと小売時の免税は不可能。道路特定財源廃止後、地方道路税が地方揮発油税に名前を変えた程度です。

マリンユースにおける軽油の圧倒的な価格の有利さがなくなってしまった場合、エンジン選択に関して、従来以上にボートテイングの「目的」を意識する必要があるかと思えます。

